平成26年　11月　188号

NETWORK　たま

編集・発行：　〒206－0036　東京都多摩市中沢二丁目1番地3
東京都立多摩総合精神保健福祉センター広報計画係
TEL　042－376－6580　（当センター広報援助課広報計画係）
FAX　042－376－6885
E-mail　S0200147@section.metro.tokyo.jp　（当センター広報援助課）
http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/tamasou/index.html

（『NETWORK　たま』は、上記 URL からダウンロードすることができます。）

年7回　（5，7，9，10，11，1，3月）　発行

《 『NETWORK　たま』メール配信のお願い 》

現在、情報紙『NETWORK　たま』は、ご希望の各機関に、主に宅配便でお届けしています。しかし経費節減や保存管理の利便性があることの観点から、ご協力いただける機関にはメールでの配信を行っております。もしご協力いただけるようでしたら、上記メールアドレスまで**『NETWORK　たま　メール配信希望』**の件名でメールをお送りください。なおその際、現在の送付先リストと照合するため、「機関名」と「住所」を本文に記入してください。紙ベースの送付を継続して希望される機関には、従来通り宅配便等でお送りします。

また、紙ベースの送付・メール配信共に希望されない機関は、お手数ですが、その旨を上記の連絡先までお知らせください。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

《 次号以降のご案内 》

（1）掲載をご希望の場合

次号『NETWORK　たま』は**平成27年1月号**です**（平成26年12月末発行予定）**。記事の掲載をご希望の機関は、**平成26年12月10日（水曜日）**までに郵送、FAX、メールのいずれかで、当センター広報計画係へ原稿をお送りください。**広報計画係「NETWORK　たま」担当宛と明記**してください。

原稿に間違いがあると発送が遅れたり、ご迷惑をおかけしてしまうことがあります。**ご寄稿前に内容や誤字脱字等のご確認をお願いします。**

また、住所を問合せ先にする場合は、必ず**郵便番号**もお書き添えください。原則、先着順に掲載いたします。なお、掲載希望多数の場合は、お載せできないこともありますので、あらかじめご了承ください。

（2）今後の発行の予定

平成26年度の次号以降の発行は**平成27年1月号、3月号**です。

当センターホームページ
（URL　http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/tamasou/index.html）もご覧ください。

第１８回精神保健福祉を考えるつどい

元気を保つにはどうしたらいいの？
－WRAP（ラップ）（元気行動回復プラン）を知ろう－

こんな思いで悩んでいませんか？葛藤　もやもや　苦しい　前に進めない・・・つらいとき、落ち込んでしまうとき・・・そんなとき、どうしたらいいんだろう？

その答えは・・・実は自分の中にあるんです。

WRAP とは、米国発のセルフケアの技法であり、Wellness Recovery Action Plan の頭文字をとったものです。中心となって考案したメアリー・エレン・コープランド氏はこのように言っています。「元気でいるために、そして気分がすぐれないときに元気になるために、また自分で責任をもって生活の主導権を握り、自ら望むような人生を送るために、あなた自身でデザインするプランが WRAP です」

今回、増川さんに WRAP を通じて元気になってきたリカバリーストーリーをお話しいただくとともに、参加者のみなさんにも実際に WRAP を体験していただく内容となっています。　自分の取扱説明書を作ってみませんか？

講　師：　増川　ねてる　氏
増川氏プロフィール
- 地域活動支援センターはるえ野　センター長
- NPO 法人コンボ　理事

◆WRAP ファシリテーター（アドバンスレベル）として、以下の機関で活動。
国立精神・神経医療研究センター病院／国分寺すずかけ診療クリニック／根岸病院／東京学芸大学など
この他、医療・保健福祉や、教育、産業などの分野でワークショップを展開。全国各地で活動中。

日　時：　平成26年11月29日（土曜日）　午後1時30分～4時　（開場1時）

場　所：　小平市福祉会館4階　小ホール
〒187－0043　小平市学園東町1－19－13
・JR 中央線　国分寺駅乗換→西武多摩湖線　一橋学園駅から徒歩8分
・西武拝島線　萩山駅乗換→西武多摩湖線　青梅街道駅から徒歩6分

お車でのご来場はご遠慮ください。

参加費：　無料

申込み：　不要

問合せ：　社会福祉法人ときわ会サングリーン
TEL　042－345－1585　（担当　蕪木（かぶらぎ））

主　催：　小平地域精神保健福祉業務連絡会

後　援：　小平市社会福祉協議会、多摩総合精神保健福祉センター

講演会

ともに元気になるために
～親離れより　子離れが先～

ご家族の皆さんは、当事者の方との間で、どんなことに困って悩んでおられますか？当事者の方の苦しさやつらさを、どのように受け止めていらっしゃるでしょうか。ご家族、当事者の皆さんが、互いに元気を取り戻すには、どうしたらよいのでしょうか。家族 SST の第一人者高森信子先生に、具体例をもとにお話しいただきます。

講　師：　高森　信子　氏

日　時：　平成26年11月18日（火曜日）　午後1時30分～3時30分

場　所：　稲城市地域振興プラザ4階　大会議室
〒206－0802　稲城市東長沼2112番地の1
・京王相模原線　稲城駅から徒歩約10分
・JR南武線　稲城長沼駅から徒歩約15分
・iバス　稲城市役所前から徒歩約2分

参加費：　無料

申込み：　不要　（会場に直接ご来場ください。）

問合せ：　042－331－0259　（稲穂会事務局）

主　催：　稲城市精神障害者家族会・稲穂会

後　援：　南多摩保健所

協　賛：　稲城市障害福祉課、稲城市地域活動支援センター
市民活動サポートセンターいなぎ

この講演会は、稲城市社会福祉協議会歳末たすけあい運動助成事業による助成金を受けて開催しています。

蒼空会第１回精神保健福祉講演会　《一般公開》

包括型地域生活支援プログラム（ACT）がめざす生活支援とは

精神に障害を持った方々が地域で安心して暮らせる社会にするには、入院に頼らない、アウトリーチ（訪問）主体による包括型地域生活支援プログラム（略称：ACT）を行っていくことがベストではないでしょうか。

今欧米では、当たり前の生活支援サービスになっている ACT（アクト）について、この分野では第一人者の伊藤順一郎先生から、事例紹介と具体化へのプロセスを解説していただきます。この講演により、わが国における精神保健福祉の進むべき方向が見えてくるのでは、と期待しております。精神保健福祉関係者の皆様には是非ご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

講　師：国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
社会復帰研究部部長　伊藤　順一郎　氏

演　題：包括型地域生活支援プログラム（ACT）がめざす生活支援とは
～理念・技術・システムづくり～

日　時：平成26年11月21日（金曜日）　午後2時～4時

場　所：清瀬市ころぽっくるセンター　ホール
〒204－8511　清瀬市中清戸3－235－5
TEL　042－495－7701
・西武池袋線　清瀬駅北口から徒歩20分
・西武バス　　清瀬駅北口から2番のりば　志木駅南口〈清61〉行きで「気象衛星センター」下車　徒歩2分
（約20分間隔でバス便あり）
・どんぐりグループのマイクロバス
清瀬駅北口西友駐輪場前から午後0時45分及び1時15分に発車予定です。
・マイカー利用　駐車場（普通車34台）もありますが、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

対　象：精神障害の家族がいる方、医療機関に勤務している方、精神保健福祉に関わる支援業務をしている方、保健福祉関係の学生の方、家族会活動に参加している方など

参加費：無料

定　員：200名

申込み・問合せ：清瀬どんぐりの家気付　ACT 講演会係
TEL　042－493－0210　FAX　042－493－0278
E-mail　workshop-donguri@pure.ocn.ne.jp
参加ご希望の方は、上記まで FAX またはメールでご連絡ください。

主　催：清瀬・東久留米地区　精神障害者家族会　「蒼空会」

共　催：社会福祉法人椎の木会

後　援：清瀬市、清瀬市社会福祉協議会、東久留米市、
東久留米市社会福祉協議会

多摩市障がい者美術作品展

多摩市障がい者美術作品展は、12月9日の障害者の日にちなんだ催しとして、平成3年に多摩市制20周年記念事業として開催されて以来、今年で24回目を迎えました。

この作品展では、多摩市に在住、または市内の学校や作業所に通う障がいのある方の創作品をご紹介いたします。

今年度は新たな試みとして、来場者からの投票で決める【市民賞】を取り入れます。みなさんの感性で選んだ作品に応援の票を投じてください。

日　時：平成26年11月30日（日曜日）～12月7日（日曜日）
平日／午前10時～午後8時
土曜日・日曜日／午前10時～午後6時
最終日は午後3時まで

場　所：パルテノン多摩　特別展示室
〒206－0033　多摩市落合2－35
・京王線・小田急線・多摩モノレール　多摩センター駅から徒歩5分
京王線中央改札口、小田急線改札西口より左へ。パルテノン大通り（遊歩道）つきあたり。
・京王電鉄バス・神奈川中央交通バス　多摩センター駅から徒歩5分
1．京王線　聖蹟桜ヶ丘駅から市役所経由
朝・夕：　多摩センター行き利用で約20分
日中：　鶴牧循環行き利用で約20分
2．京王線　聖蹟桜ヶ丘駅から一の宮経由
朝・夕：　多摩センター行き利用で約20分
日中：　南部地域病院行き利用で約20分

入場料：無料

問合せ：特定非営利活動法人　多摩市障害者福祉協会
TEL　042－356－0308
E-mail　tashokyo@siren.ocn.ne.jp
URL　http://tashokyo.com/eventnews/news.html

主　催：多摩市

後　援：多摩市教育委員会、公益財団法人多摩市文化振興財団
多摩市社会福祉協議会、三多摩美術家連盟、多摩美術大学美術館

障害者週間啓発事業

お笑い（わら）ライブ＆トーク

松本ハウスがやってきた！
in　あきる野
～笑って学ぼう統合失調症～

松本ハウスは、1991年に結成したお笑いコンビ。「タモリのボキャブラ天国」、「電波少年」などのテレビ番組に出演し、一躍有名になるも、1999年にハウス加賀谷さんの病気療養で活動休止。

10年後の2009年、ハウス加賀谷さんの病状が寛解したことにより活動を再開。抱腹絶倒の統合失調症ネタはライブでさらに盛り上がります。トークショーでは、お二人のこれまでの体験や、心温まる日常の話などあり、キックさんの寄り添う姿勢にも感動です。

出　演：松本ハウス　（サンミュージックプロダクション所属）

ハウス加賀谷（写真左）　松本キック（写真右）

日　時：平成26年12月14日（日曜日）　午後2時～4時頃　（開場　午後1時）

場　所：あきる野ルピア3階　ルピアホール
〒197－0804　あきる野市秋川1丁目8
ＪＲ五日市線　秋川駅から徒歩約５分

入場料：無料

申込み：不要　（会場に直接ご来場ください。ただし、入場は先着順240名まで。）

問合せ：あきる野市障害者団体連絡協議会
TEL　090－1882－0306　（担当　小笠原）
あきる野市障がい者就労・生活支援センターあすく
TEL　042－532－1793

主　催：あきる野市障害者団体連絡協議会

後　援：あきる野市、あきる野市社会福祉協議会

★★★★★「NETWORK　たま」は多摩地域の精神保健福祉関係機関等からの情報を提供しています★★★★★